

第2次与謝野町総合計画 後期基本計画 素案

[パブリックコメント資料]



目次

- 01 ~ 04 第2次与謝野町総合計画の概要
- 05 ~ 07 社会潮流
- 08 策定方針
- 09 ~ 13 策定の経過
- 14 基本構想
- 15 ~ 33 後期基本計画素案（分野別計画）
- 34 ~ 37 後期基本計画素案（重点プロジェクト）

第2次与謝野町総合計画の概要

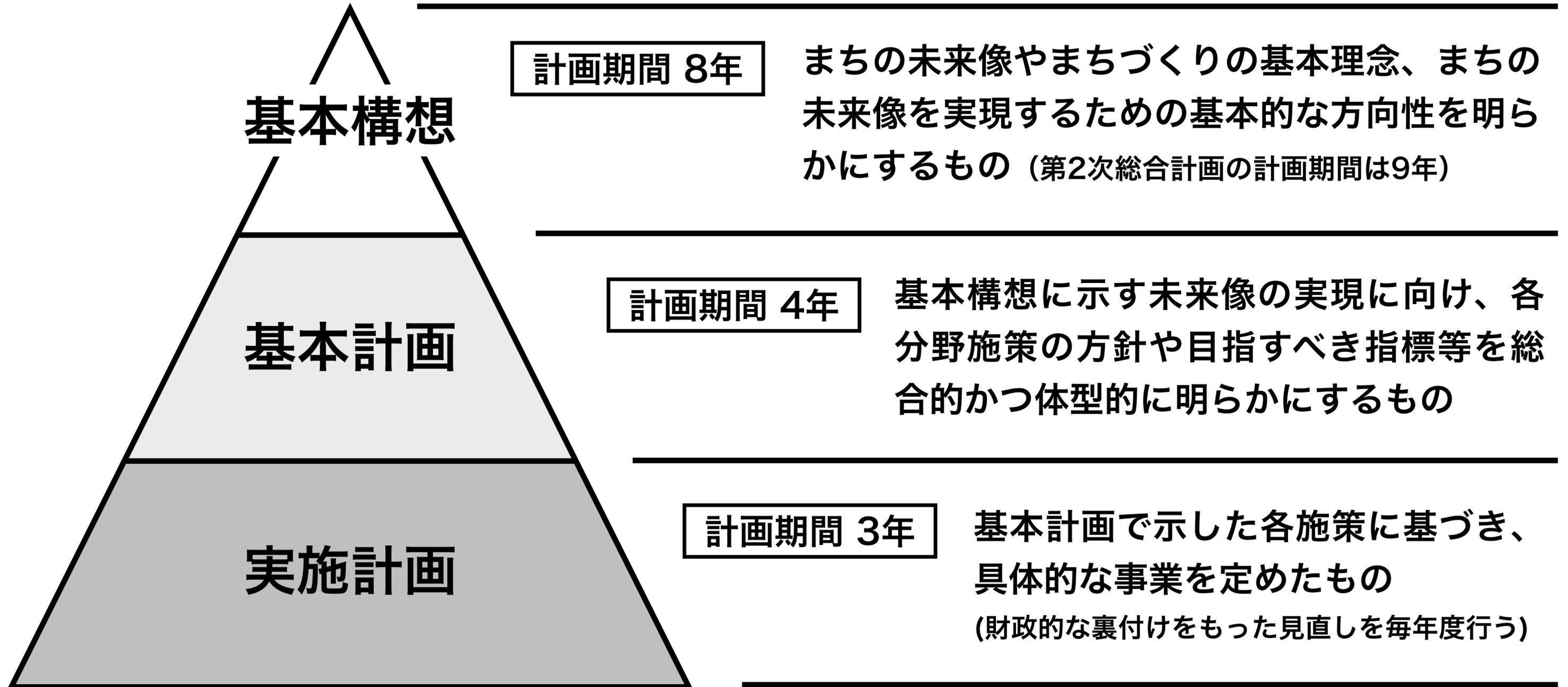
総合計画は、住民と行政が共有する「まちづくりの設計図」です

現在、与謝野町にはたくさんの課題が存在します。これらの課題は複雑化、多様化、高度化、専門化、不確実化しており、一人で解決できる課題もあれば、たくさんの方が関わって解決できる課題、また行政でなければ解決が難しい課題もあります。与謝野町を未来へとつなげていくためには、「自分たちのまちは自分たちでつくる」という意識を持つとともに、人口減少、少子高齢化が進む未来を見通しつつ、時代の変化や課題に的確に対応していくための「まちづくりの設計図」が必要です。「こんなまちにしていこう」というまちの未来を描くとともに、その実現のための方針を定めた長期的なまちづくり計画で、まちづくりの指針となり、すべての計画の最上位に位置づけられる計画、それが「与謝野町総合計画」です。この設計図を住民と行政が共有し、自助・共助・商助・公助それぞれの立場で役割分担をしながらみんなでまちづくりを進めています。

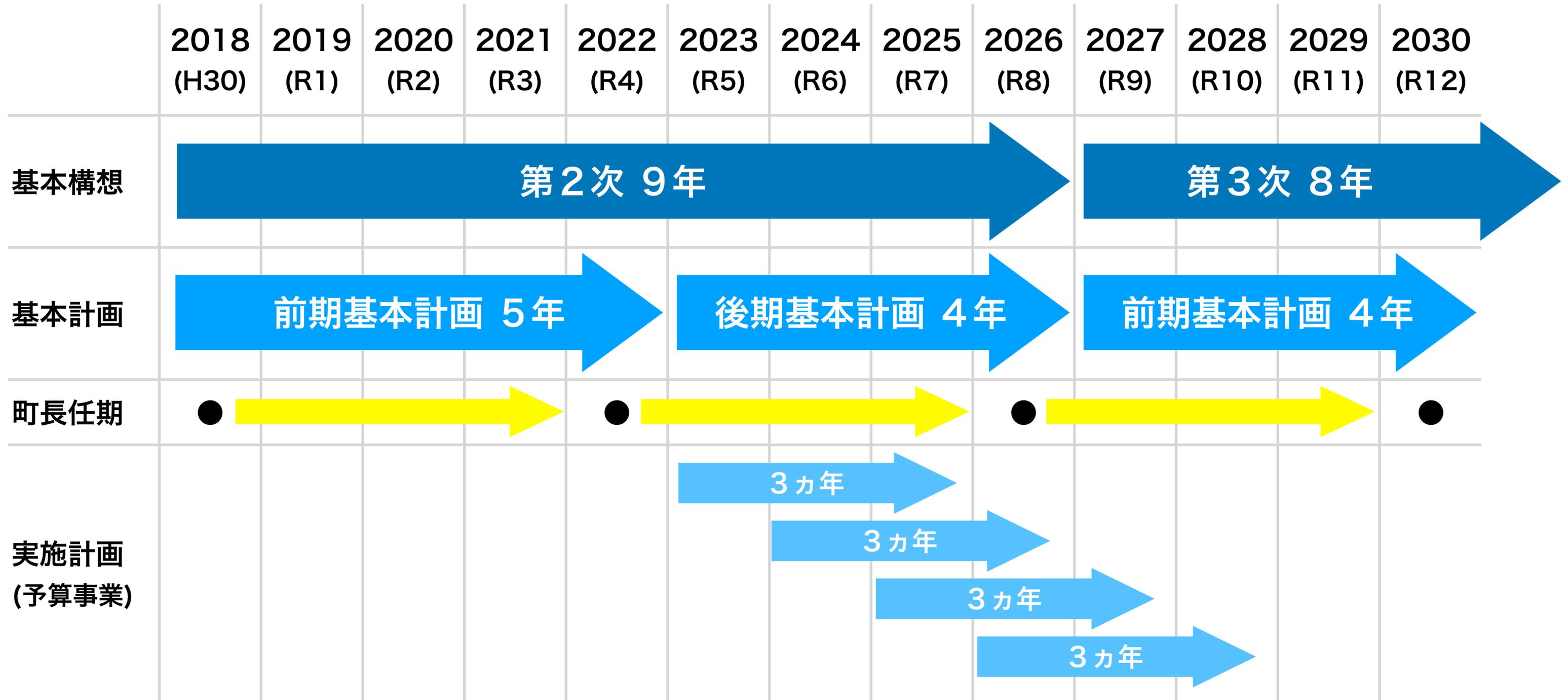
前期基本計画を見直し、新たに後期基本計画を定めます

第2次与謝野町総合計画は、平成30(2018)年度から令和8(2026)年度の9年を計画期間とし、「基本構想」「基本計画」「実施計画」で構成されています。このうち、基本構想を実現するための施策の内容を体系的に示す「基本計画」は、令和4(2022)年度末をもって前期計画期間を終えることから、前期基本計画の進捗状況や社会情勢の変化、住民ニーズなどを踏まえて必要な見直しを行い、与謝野町総合計画条例に基づき、新たに令和5(2023)年度から4年間を計画期間とする後期基本計画を策定します。

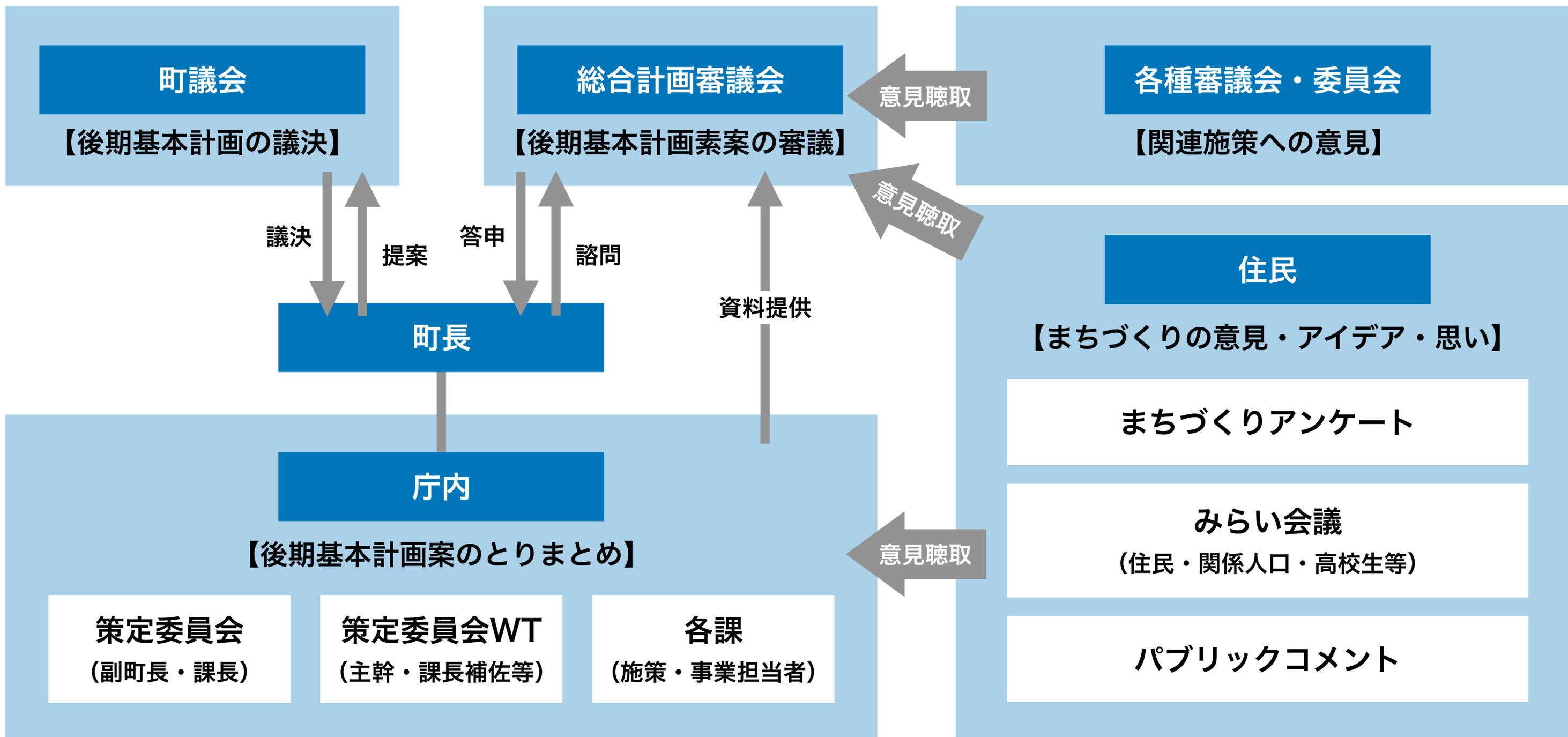
総合計画は「基本構想」「基本計画」「実施計画」の3階層で構成しています。



第2次与謝野町総合計画は、平成30(2018)年度から令和8(2026)年度の9年を計画期間としています。



住民の皆さんからのご意見等を参考にしながら、総合計画審議会で審議し、行政内部で計画案としてまとめ、議会に上程し策定します。



社会潮流

基本計画の策定にあたっては、社会情勢の変化や地域社会への影響を認識し、時代に即した計画を策定します。

人口減少・少子高齢化

人口減少と少子高齢化の進行は、経済規模の縮小や担い手不足、空き家の増加など、地域社会に大きな影響を及ぼすことが懸念されます。人口減少克服に取り組むため、国と地方が総力を挙げて「地方創生」に取り組んでいます。

ポストコロナ

新型コロナウイルス感染症拡大により、私たちの生活は大きく変わりました。新しい生活様式への移行や地方分散の流れ、デジタル化の浸透といった環境の変化を踏まえた取り組みが求められています。

安心・安全の確保

集中豪雨や台風などの自然災害が全国各地で多発しているほか、府北部では発生から90年が経過した北丹後地震の再来も懸念されており、感染症対策も含め、安心・安全の確保に向けた対策が求められています。

SDGsの推進

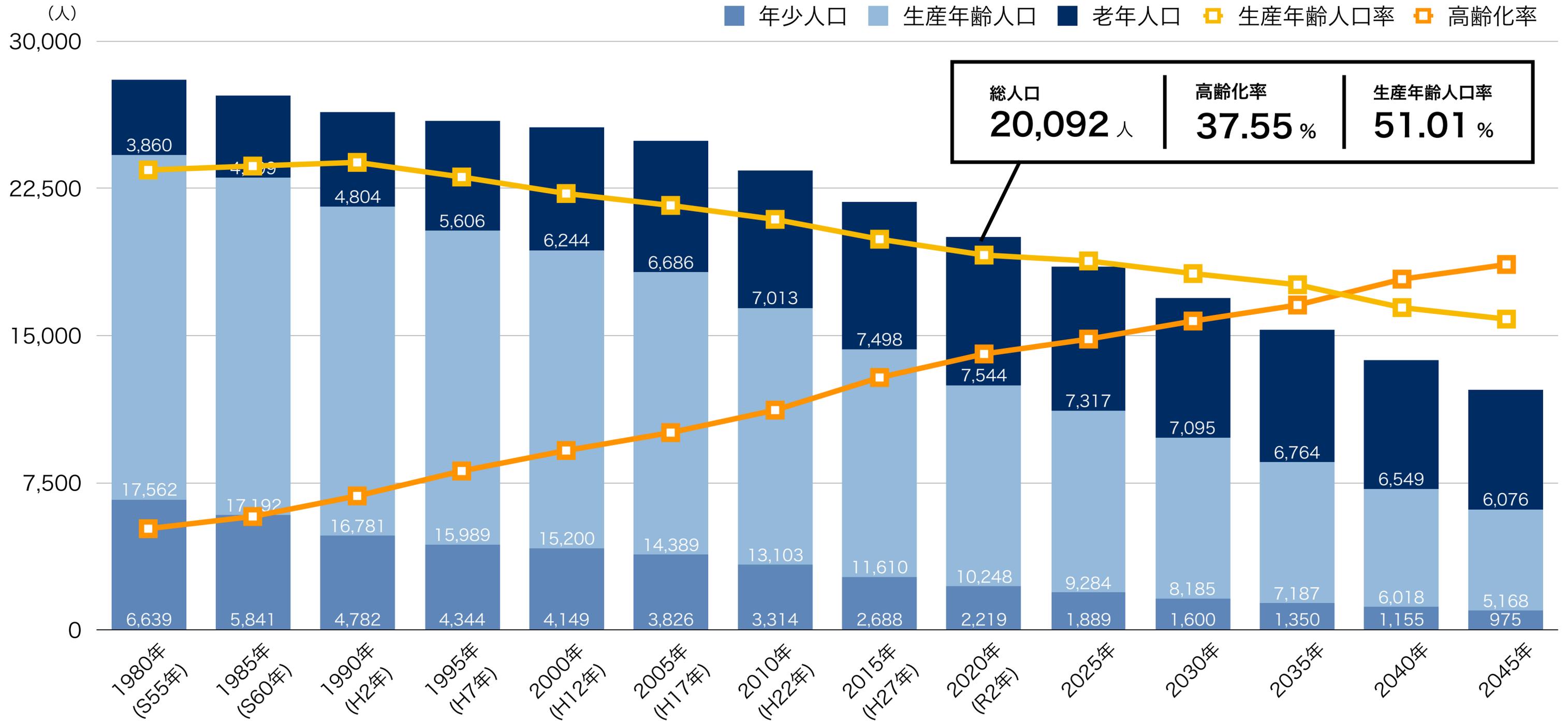
地球温暖化に起因する異常気象や貧困、格差、差別など、世界的な課題に対応するため、平成27(2015)年の国連サミットで採択された17の開発目標「SDGs」は、国内でも多くの企業や個人の間で認知され、自治体においても推進が求められています。

デジタル社会の実現

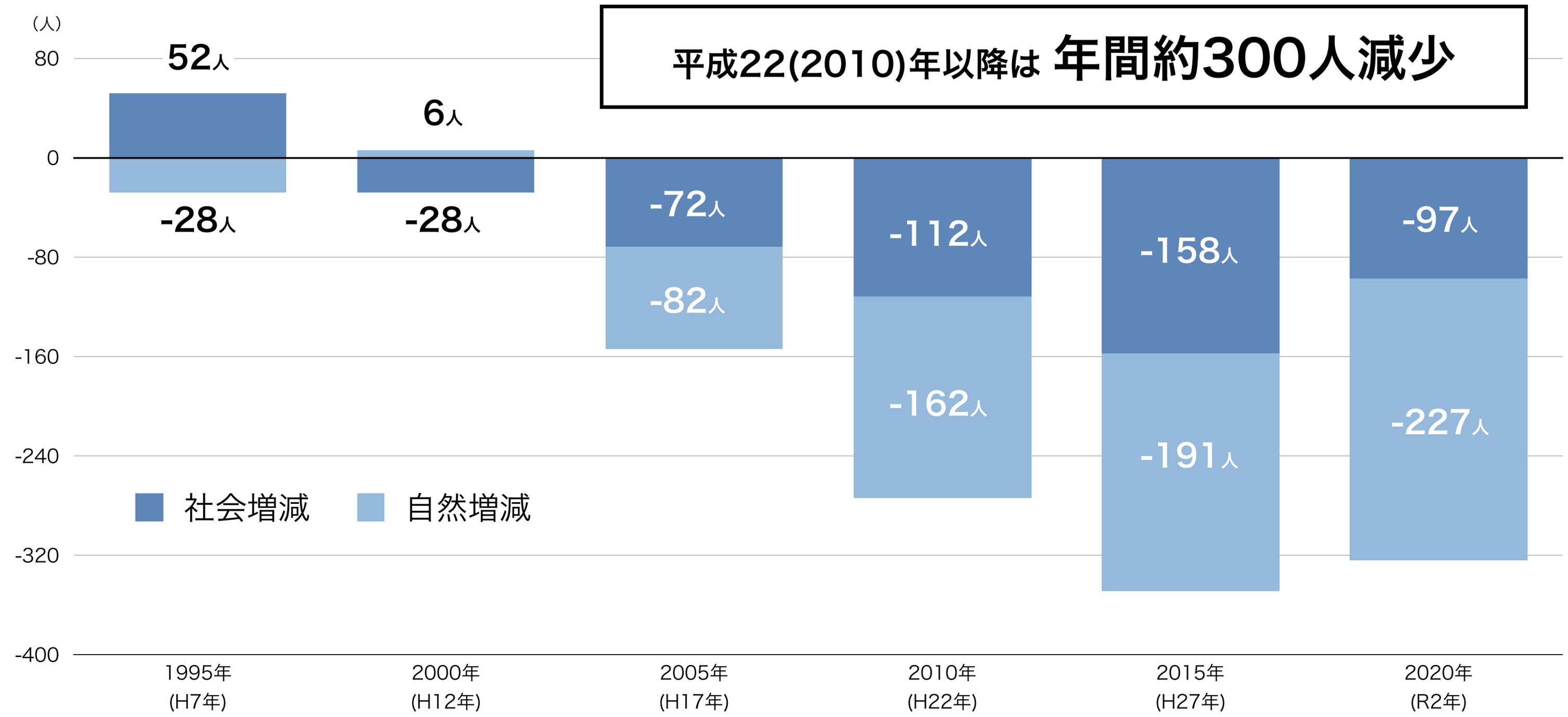
令和3(2021)年にデジタル庁が発足し、デジタルの活用により、誰一人取り残されることなく、多様な幸せが実現できる社会を目指すことが示される中、地域社会においてもデジタル技術を活かした課題解決や利便性向上に向けて取り組みが求められています。

脱炭素化の推進

与謝野町では、国に先立ち、令和2(2020)年3月に「2050年二酸化炭素排出量実質ゼロ」を宣言し、環境省の「ゼロ・カーボンシティ」へ登録を行っており、地球温暖化の原因となる二酸化炭素の排出抑制に向けた取り組みが求められています。



出典：総務省「国勢調査」、国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口」（2025年以降は推計値）



出典：総務省「住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数調査」

後期基本計画策定方針

1. 広く町民の意見を聴く機会を設け、**町民参画**による総合計画の策定に努めます。
2. **前期基本計画の進捗状況や課題を把握・分析**し、施策の必要な見直しを行います。
3. 前期基本計画に掲げる施策について、**必要に応じて整理・統合等を図る**とともに、新たな課題については施策としての位置付けを検討します。
4. **国や京都府の動向など本町を取り巻く社会環境を的確に捉え**、将来人口推計や財政状況を把握・分析し、施策の必要な見直しを行います。
5. 各分野に掲げる具体的な施策について、毎年度その効果を評価検証できる**客観的な指標（重要業績評価指標「KPI」）**を設定します。
6. **第2期与謝野町ひと・しごと・まち創生総合戦略を後期基本計画に包含**し、一体的な管理を行うことで「地方創生」の着実な推進を図ります。
7. 持続可能な行財政経営に資する、**予算・決算と連動**した実効性の高い総合計画の策定に努めます。
8. **SDGs**の目標を施策に関連付けます。

後期基本計画策定の経過

与謝野町総合計画審議会条例に基づき総合計画審議会を設置し、後期計画の策定を諮問。2カ年にわたって審議いただきました。

令和3年度（第5期総合計画審議会：委員数 12名、岡田三栄子 会長）

前期基本計画の検証

第3回会議	令和3年12月14日	第2次総合計画・後期基本計画策定の諮問 策定方針 町長と意見交換
第4回会議	令和4年3月15日	第2次総合計画・前期基本計画の評価方法 前期基本計画検証（分野1～3）
第5回会議	令和4年3月22日	前期基本計画検証（分野4～7） 次期総合計画審議会への引継事項

令和4年度（第6期総合計画審議会：委員数 23名、谷口知弘 会長）

後期基本計画の策定

第1回会議	令和4年6月7日	正副会長互選 総合計画と総合計画審議会 策定方針 ワークショップ
第2回会議	令和4年7月5日	第2次総合計画・前期基本計画 よさのみらい会議 スケジュール 今後の進め方
第3回会議	令和4年8月9日	まちづくりアンケート よさのみらい会議 スケジュール
第4回会議	令和4年9月13日	第2次総合計画・後期基本計画骨子案 分野別計画の見直し
第5回会議	令和4年10月18日	分野別計画の見直し 重点プロジェクトの検討
第6回会議	令和4年11月22日	分野別計画の見直し 重点プロジェクトの検討
第7回会議	令和4年12月13日	答申内容の確認

幅広く住民の皆さんのご意見やアイデアを把握し計画素案へ反映するため、審議会では積極的にタウンミーティングを実施されました。

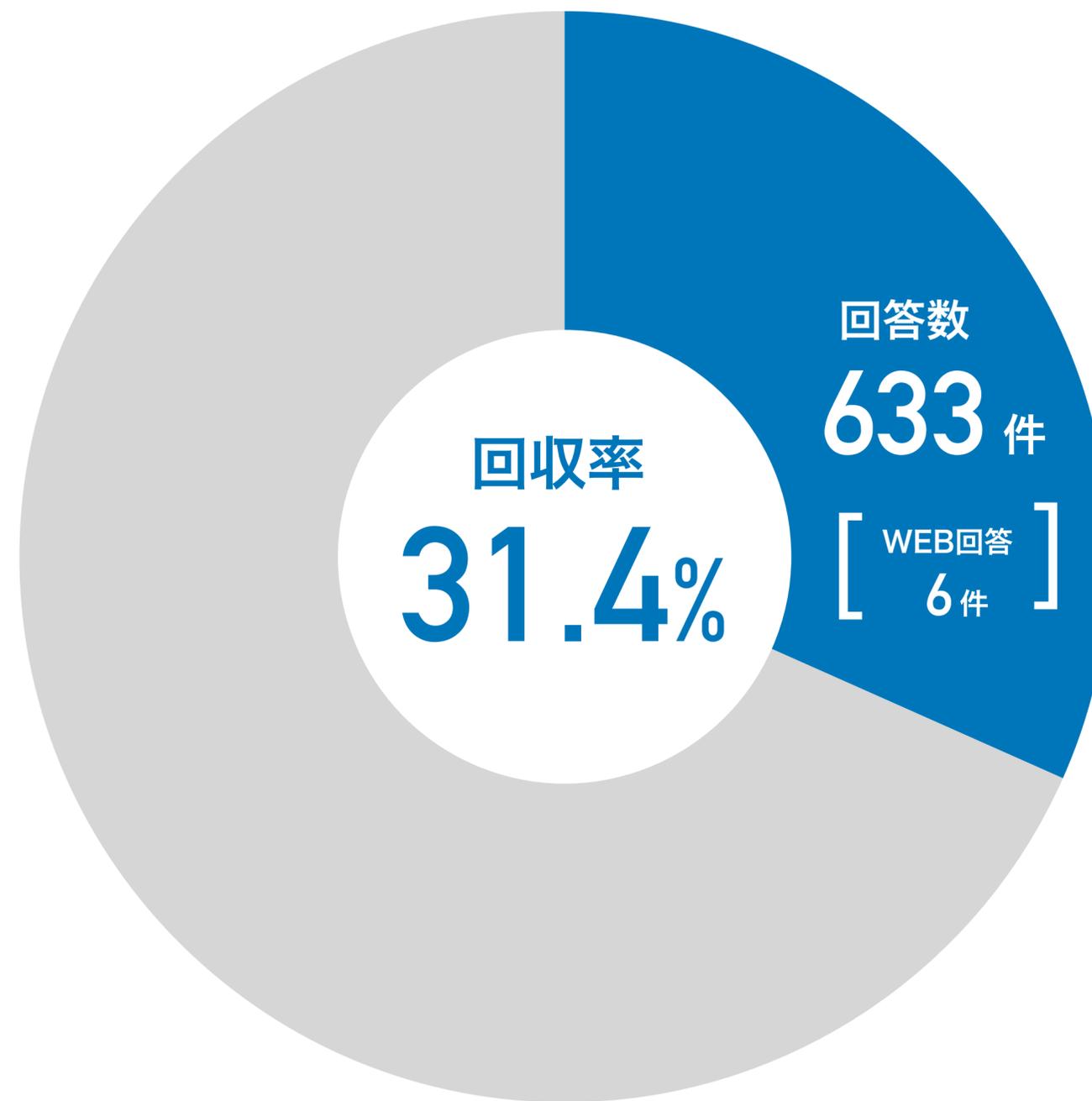


<p>目的</p>	<p>広聴 町民の皆さんの声を第2次総合計画に反映すること</p> <p>実践機運醸成 町民の皆さん同士の新たな出会いの場をつくること</p>
<p>意見の取扱い</p>	<p>審議会での分野別計画見直し検討・重点プロジェクト立案にあたり 住民ニーズ&参考意見とする</p>
<p>開催形式</p>	<p>ワークショップ</p>

名称	開催月日	参加者数	内容
第1回よさのみらい会議	令和4年7月24日	19人	ワークショップ（わたしの幸せ、まちの幸せ）
第2回よさのみらい会議	令和4年9月25日	23人	ワークショップ（地域のつながりで子育てを応援する）
第3回よさのみらい会議	令和4年10月16日	20人	ワークショップ（人の流れを生むまち）
産業振興会議 編	令和4年8月31日	16人	ワークショップ（地域にお金をまわす）
商工会青年部 編	令和4年9月8日	8人	ワークショップ（地域にお金をまわす）
宮津天橋高校加悦谷学舎 編	令和4年9月26日	79人	ワークショップ（若者が帰りたくなるまち・住み続けたいくなるまち）
子ども子育て会議 編	令和4年10月26日	10人	ワークショップ（つながりで笑顔を未来につむぐまち）
福祉ボランティア 編	令和4年10月27日	20人	ワークショップ（つながりで笑顔を未来につむぐまち）
よさの百年の暮らし委員会 編	令和4年10月31日	11人	ワークショップ（ゼロ・カーボン宣言を生かした魅力あふれるまちづくり）
子育て世代 編	令和4年11月24日	23人	ワークショップ（つながりで笑顔を未来につむぐまち）
協働のまちづくり調査事業意見交換会	令和4年11月9日	6人	地域活動を行う方の意見聴取
よさのみらい大学地域づくり学部	令和4年11月23日	11人	移住者・Uターン者の意見聴取

与謝野町では、住民基本台帳から無作為抽出した15歳以上の住民2,000人を対象に、まちづくりアンケートを実施しました。

<p>調査対象</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 15歳以上の町民から 2,000人を無作為抽出 ・ 回答希望者（WEB回答）
<p>調査方法</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 郵送による配布・回収 ・ WEBアンケートフォームから回答
<p>調査期間</p>	<p>令和4年6月17日～7月15日</p>
<p>調査結果</p>	



副町長や課長等で構成する策定委員会と、主幹級以下で構成するワーキングチームを設置し職員参画による計画づくりを進めています。

総合計画策定委員会（構成：副町長・教育長・課長）

第1回会議	令和4年2月21日	総合計画策定委員会 ワーキングチーム委員選出 策定方針 前期基本計画の評価 今後のスケジュール
第2回会議	令和4年8月24日	後期基本計画策定の進捗状況 今後のスケジュール
第3回会議	令和4年12月27日	後期基本計画(案)答申 後期基本計画(案)策定

総合計画策定委員会ワーキングチーム（構成：各施策を所管する各課主幹級以下の職員）

第1回会議	令和4年3月4日	部会構成 後期基本計画 策定方針 前期基本計画評価検証
第2回会議	令和4年5月23日	勉強会 部会構成 後期基本計画 策定方針 前期基本計画評価検証
第3回会議	令和4年7月12日	前期基本計画検証 後期基本計画策定作業の進め方 ワークショップ
部会	令和4年11月9日	地域振興部会：分野別計画の見直し
	令和4年11月10日	教育・福祉部会：分野別計画の見直し
	令和4年11月11日	産業・建設・環境部会：分野別計画の見直し

基本構想

計画期間で目指すまちの未来像とまちづくりの基本理念、分野別方針を示しています。なお、後期基本計画では基本構想は改定しません。

与謝野町が
目指す未来像

人・自然・伝統 与謝野で織りなす 新たな未来

まちづくりの
基本理念

みんな

みらい

みえる

未来像を
実現するための
分野別方針

分野1

安心して働けるまち
一人ひとりが個性を活かして

産業
仕事

分野2

地元を誇りに想い
人の流れを生むまち

観光
交流
移住定住

分野3

みんなが自分らしく
幸せに生きるまち

健康
福祉

分野4

つながりで
笑顔未来につむぐまち

出産
子育て

分野5

魅力ある教育が
活力ある人や地域を創るまち

教育
文化
スポーツ

分野6

美しく住みやすい
安心安全なまち

環境
暮らし

分野7

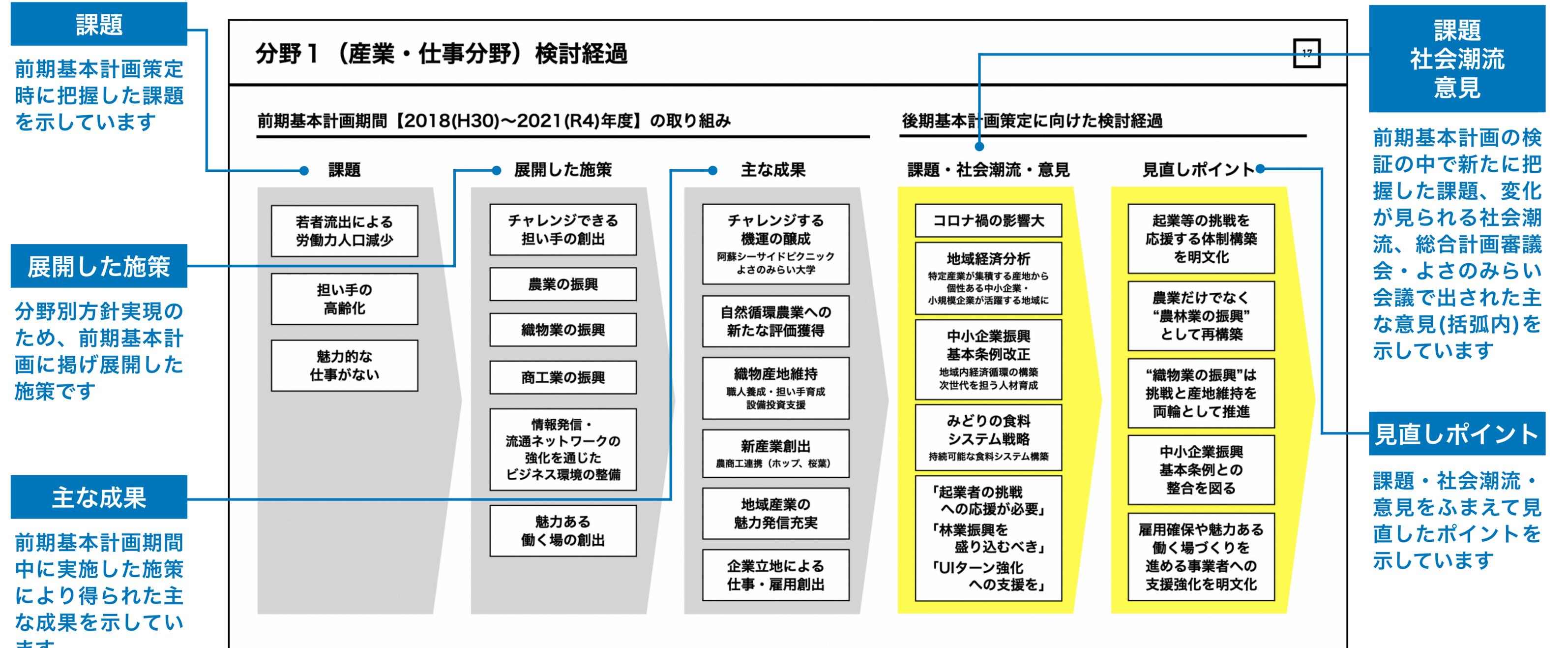
住民が
主人公となるまち

地域協働
行財政

後期基本計画 素案

分野別計画

計画素案の見方を示しました。ご意見をいただく際の参考にしてください。



計画素案の見方を示しました。ご意見をいただく際の参考にしてください。

方針（目指すまちの姿）

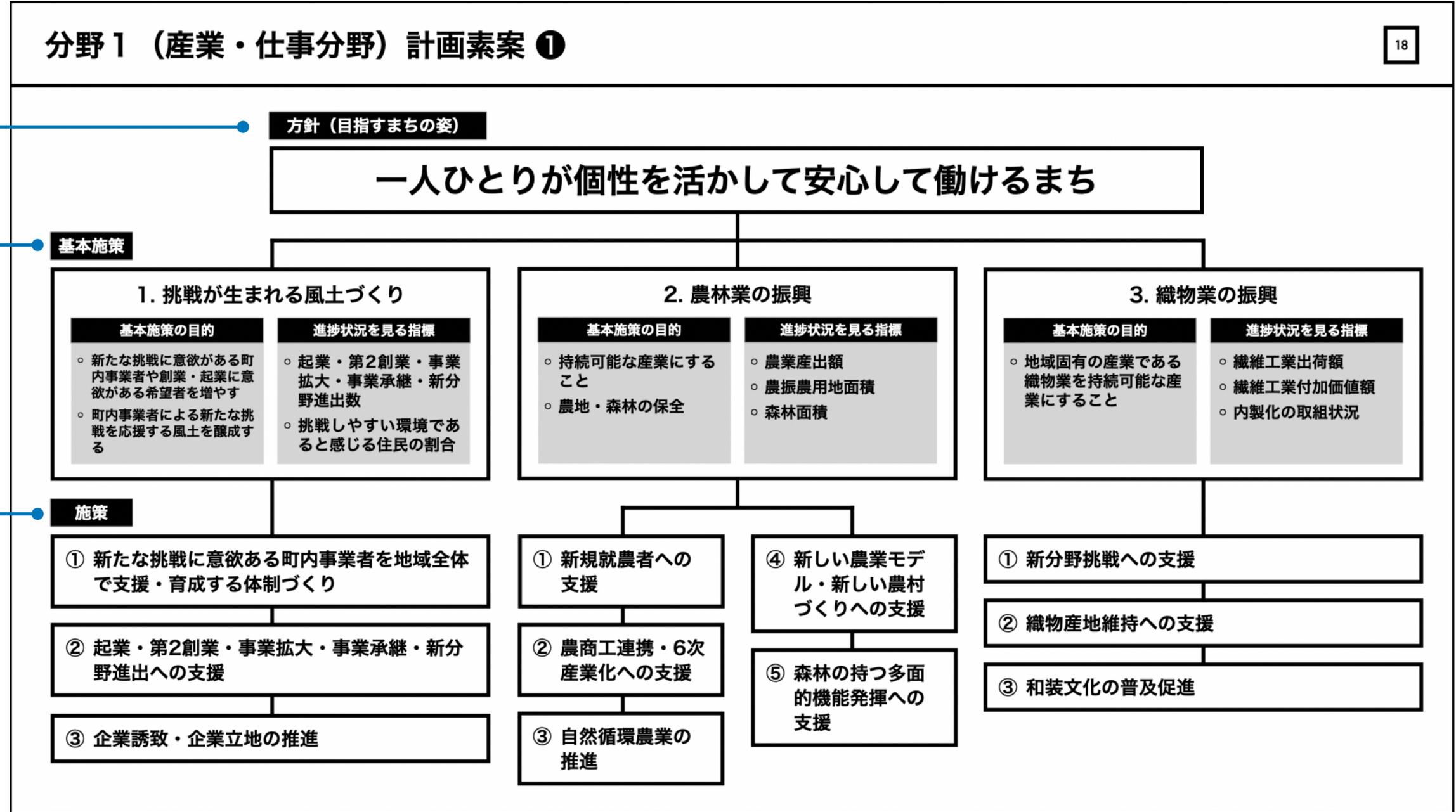
与謝野町の未来像「人・自然・伝統 与謝野で織りなす 新たな未来」を実現するための分野別方針（目指すまちの姿）を示しています

基本施策

分野別方針を実現するために行政が取り組む基本的な施策について、目的を明らかにするとともに、施策の進捗状況を測る主な指標を示しています

施策

基本施策に基づき、具体的に行政が取り組む内容を示しています（行政が予算措置して実施する事業は、別途「実施計画」で示す予定です）



前期基本計画期間【2018(H30)～2021(R4)年度】の取り組み

後期基本計画策定に向けた検討経過

課題

展開した施策

主な成果

課題・社会潮流・意見

見直しポイント

若者流出による
労働力人口減少

担い手の
高齢化

魅力的な
仕事がない

チャレンジできる
担い手の創出

農業の振興

織物業の振興

商工業の振興

情報発信・
流通ネットワークの
強化を通じた
ビジネス環境の整備

魅力ある
働く場の創出

チャレンジする
機運の醸成
阿蘇シーサイドピクニック
よさのみらい大学

自然循環農業への
新たな評価獲得

織物産地維持
職人養成・担い手育成
設備投資支援

新産業創出
農商工連携 (ホップ、桜葉)

地域産業の
魅力発信充実

企業立地による
仕事・雇用創出

コロナ禍の影響大

地域経済分析
特定産業が集積する産地から
個性ある中小企業・
小規模企業が活躍する地域に

中小企業振興
基本条例改正
地域内経済循環の構築
次世代を担う人材育成

みどりの食料
システム戦略
持続可能な食料システム構築

「起業者の挑戦
への応援が必要」
「林業振興を
盛り込むべき」
「Uターン強化
への支援を」

起業等の挑戦を
応援する体制構築
を明文化

農業だけでなく
“農林業の振興”
として再構築

“織物業の振興”は
挑戦と産地維持を
両輪として推進

中小企業振興
基本条例との
整合を図る

雇用確保や魅力ある
働く場づくりを
進める事業者への
支援強化を明文化

方針 (目指すまちの姿)

一人ひとりが個性を活かして安心して働けるまち

基本施策

1. 挑戦が生まれる風土づくり

基本施策の目的	進捗状況を見る指標
<ul style="list-style-type: none"> 新たな挑戦に意欲がある町内事業者や創業・起業に意欲がある希望者を増やす 町内事業者による新たな挑戦を応援する風土を醸成する 	<ul style="list-style-type: none"> 起業・第2創業・事業拡大・事業承継・新分野進出数 挑戦しやすい環境であると感じる住民の割合

2. 農林業の振興

基本施策の目的	進捗状況を見る指標
<ul style="list-style-type: none"> 持続可能な産業にすること 農地・森林の保全 	<ul style="list-style-type: none"> 農業産出額 農振農用地面積 森林面積

3. 織物業の振興

基本施策の目的	進捗状況を見る指標
<ul style="list-style-type: none"> 地域固有の産業である織物業を持続可能な産業にすること 	<ul style="list-style-type: none"> 繊維工業出荷額 繊維工業付加価値額 内製化の取組状況

施策

- ① 新たな挑戦に意欲ある町内事業者を地域全体で支援・育成する体制づくり
- ② 起業・第2創業・事業拡大・事業承継・新分野進出への支援
- ③ 企業誘致・企業立地の推進

- ① 新規就農者への支援
- ② 農商工連携・6次産業化への支援
- ③ 自然循環農業の推進
- ④ 新しい農業モデル・新しい農村づくりへの支援
- ⑤ 森林の持つ多面的機能発揮への支援

- ① 新分野挑戦への支援
- ② 織物産地維持への支援
- ③ 和装文化の普及促進

方針 (目指すまちの姿)

一人ひとりが個性を活かして安心して働けるまち

基本施策

4. 商工業の振興

基本施策の目的

- 域内経済の活性化を図ること
- 町内での消費行動を行う住民を増やすこと

進捗状況を見る指標

- 町内総生産額
- 地域内経済循環を意識している住民の割合

5. 魅力ある働く場の創出

基本施策の目的

- 時代に応じた多様な働き方ができる魅力的な働く場を増やすこと

進捗状況を見る指標

- 魅力ある働く場がある(魅力ある職場で働いている)と感じる住民の割合

施策

① 生産性向上・技術力強化・経営基盤強化への支援

② 産業人財の育成

③ 地域内経済循環の促進

① 雇用の維持・確保に努める町内事業者への支援

② 魅力ある働く場づくりに努める町内事業者への支援

前期基本計画期間【2018(H30)～2021(R4)年度】の取り組み

後期基本計画策定に向けた検討経過

課題

展開した施策

主な成果

課題・社会潮流・意見

見直しポイント

まちの魅力が
認識できていない

まちの魅力が
発信できていない

移住者が少ない

魅力の認識及び
よさの者※づくり

魅力を体験・体感で
きるコンテンツの開
発

交流人口増加体制の
強化

まちの魅力・人の
魅力が生み出す
与謝野町ならではの
「移住・定住」
の促進

※町内に居住していなくても与謝野町に関心を持ち、関係を持っている人を意味する造語

ふるさと納税
増加傾向

地域資源活用
体験プログラム増

施設充実
かや山の家
旧加悦町役場庁舎
クアハウス岩滝

移住者数
増加傾向

移住支援制度充実
移住相談窓口設置
各種補助制度創設

コロナ禍の影響大

関係人口※への
期待

小中高生の
郷土愛を育くむ

地域資源が
生かされてない

「住みたい空き家や
住宅がない」
「人の流れは
住環境を整える
ことで生まれる」

※特定の地域に継続的に多様なかたちで関わる人

施策体系の再構築
まちを知る
まちの魅力を体感する
まちで暮らす

“関係人口の
創出・拡大”
を新たに追加

与謝野ならではの
観光・移住定住
の重要性を明文化

“移住者の
住まい環境整備”
を新たに追加

方針 (目指すまちの姿)

地元を誇りに想い人の流れを生むまち

基本施策

1. ファンづくりの推進

基本施策の目的

- まちの魅力を知り、誇りに思う住民を増やすこと

進捗状況を見る指標

- 与謝野町が好きな住民(関係人口含む)の割合

2. まちの魅力を生かした観光振興

基本施策の目的

- 交流人口を増やすこと

進捗状況を見る指標

- 観光入込客数
- 観光消費額

3. まちの魅力を生かした移住・定住の促進

基本施策の目的

- 移住者・定住者を増やすこと

進捗状況を見る指標

- 移住者数

施策

① まちの魅力を発見・再認識する機会の創出

② 関係人口の創出・拡大

③ 国際交流の推進

① まちの魅力を体験・体感できるコンテンツ開発への支援

② まちの魅力を体験・体感できる交流拠点の充実

③ 観光協会を中心とした与謝野町ならではの推進

④ 海の京都DMOと近隣市町との連携強化による広域観光の推進

① 移住検討者・移住希望者・移住者への支援体制の強化

② 移住者の住まい環境の充実・確保

③ 町内事業者と連携した移住体験の充実

前期基本計画期間【2018(H30)～2021(R4)年度】の取り組み

後期基本計画策定に向けた検討経過

課題

展開した施策

主な成果

課題・社会潮流・意見

見直しポイント

保健・医療・福祉サービスの担い手不足

健康に対する意識が低い

健康づくりへの参加が少ない

支援や心のよりどころが必要な人への支援体制が不十分

健康・福祉を支える人財の育成と確保

元気な心と体づくりの推進

心のよりどころの充実

誰もが自分らしさと生きがいをもって共生できるまちの推進

介護福祉士資格取得補助制度による離職者防止

メタボ該当者減少

地域医療体制の維持

相談窓口充実

子育て支援センター
児童家庭相談室
認知症カフェ
精神障害者の居場所づくり

障害者雇用に関する啓発推進と雇用の実現

農福連携による雇用創出

コロナ禍の影響大

深刻化する社会的孤立、生活困窮

ボランティア等支援者の高齢化

支援の必要な人に情報が届いてない

「人材確保や職場定着につながる制度の構築を」

「情報発信の強化や工夫が必要」

施策体系の再構築

“感染症対策推進”を新たに追加

“社会的孤立対策、生活困窮者支援”を新たに追加

複雑化・複合化した支援ニーズに対応する包括的な支援体制構築の視点で施策を構成

方針 (目指すまちの姿)

みんなが自分らしく幸せに生きるまち

基本施策

1. 健康・福祉を支える人財の育成と確保

基本施策の目的	進捗状況を見る指標
<ul style="list-style-type: none"> 保健・医療・福祉サービスに関わる人材を確保すること 	<ul style="list-style-type: none"> 保健・福祉サービス従事者数 医療機関数

2. 元気な心と体づくりの推進

基本施策の目的	進捗状況を見る指標
<ul style="list-style-type: none"> 住民の健康寿命を伸ばすこと 	<ul style="list-style-type: none"> 健康寿命

3. 誰もが安心していきいきと暮らし続けられる地域づくりの推進

基本施策の目的	進捗状況を見る指標
<ul style="list-style-type: none"> 不安を抱えて暮らす人を減らす 生きがいを持って暮らせる人を増やす 	<ul style="list-style-type: none"> 不安を抱えている住民の割合 生きがいを持って暮らす住民の割合

施策

① 人財の育成・確保

③ ICT利活用の推進

① 健康づくり・食育の推進

① 地域福祉の推進

④ 社会的孤立対策の推進

② ボランティア活動の推進

④ 地域医療体制の維持

② 疾病予防・感染症対策の推進

② 障害者福祉の充実

⑤ 生活困窮者への支援

③ 高齢者福祉の充実

前期基本計画期間【2018(H30)～2021(R4)年度】の取り組み

後期基本計画策定に向けた検討経過

課題

展開した施策

主な成果

課題・社会潮流・意見

見直しポイント

未婚・晩婚・離婚
増加傾向

子育て家庭と
地域のつながりの
希薄化

孤立する
子育て家庭増加

働き方に応じた
子育て環境を
求める声への対応

新たな命の誕生を
応援

親子の笑顔の
暮らしを応援

地域ぐるみの
子育て力の向上

親と子の学び・
育ちの場づくり

安心して子どもを
生み育てられる
環境構築

子育て世代包括支援センター
産後リフレッシュ事業
ハローベビープロジェクト
特定不妊治療費交通費助成

子育てサービス充実

認定こども園開園
早朝保育
病児保育

地域主体の
子育てサービス開始
キッズステーション事業

野田川地域の
認定こども園未整備

子育ての
新たな担い手確保
民間・地域との協働

「切れ目ない
サポートを」

「子育て家庭を
孤立させない」

「夫婦の勉強会
が必要」

「多機能な子育ての
場が必要」

公民館・休眠施設の活用
商業施設との連携

施策体系の再構築

切れ目ない支援
体制充実を明文化

“夫婦の学びの
機会創出”
を新たに追加

地域や民間との協働
により孤立しない
子育て環境の構築を
図ることを明文化

方針 (目指すまちの姿)

つながりで笑顔を未来につむぐまち

基本施策

1. 新たな命の誕生を応援

基本施策の目的	進捗状況を見る指標
<ul style="list-style-type: none"> 安心して妊娠・出産ができると思う人を増やすこと 	<ul style="list-style-type: none"> 安心して妊娠・出産ができると感じる住民の割合

2. 親子の笑顔の暮らしを応援

基本施策の目的	進捗状況を見る指標
<ul style="list-style-type: none"> 安心して子育てができると思う人を増やすこと 	<ul style="list-style-type: none"> 安心して子育てができると感じる住民の割合

3. 地域ぐるみの子育て力の向上

基本施策の目的	進捗状況を見る指標
<ul style="list-style-type: none"> 地域主体で展開する子育てサービスを増やすこと 地域ぐるみで子育てをする意識を醸成すること 	<ul style="list-style-type: none"> 地域主体で展開する子育てサービス数

施策

① 母子の健康づくりの推進

② 食育の推進

③ 妊娠・出産・子育て期の一体的な相談・支援体制の充実

④ 夫婦・次世代の親の学びの機会創出

① 多様なニーズに応じた幼児教育・保育サービスの充実

② 子ども・家庭に応じた支援と連携の強化

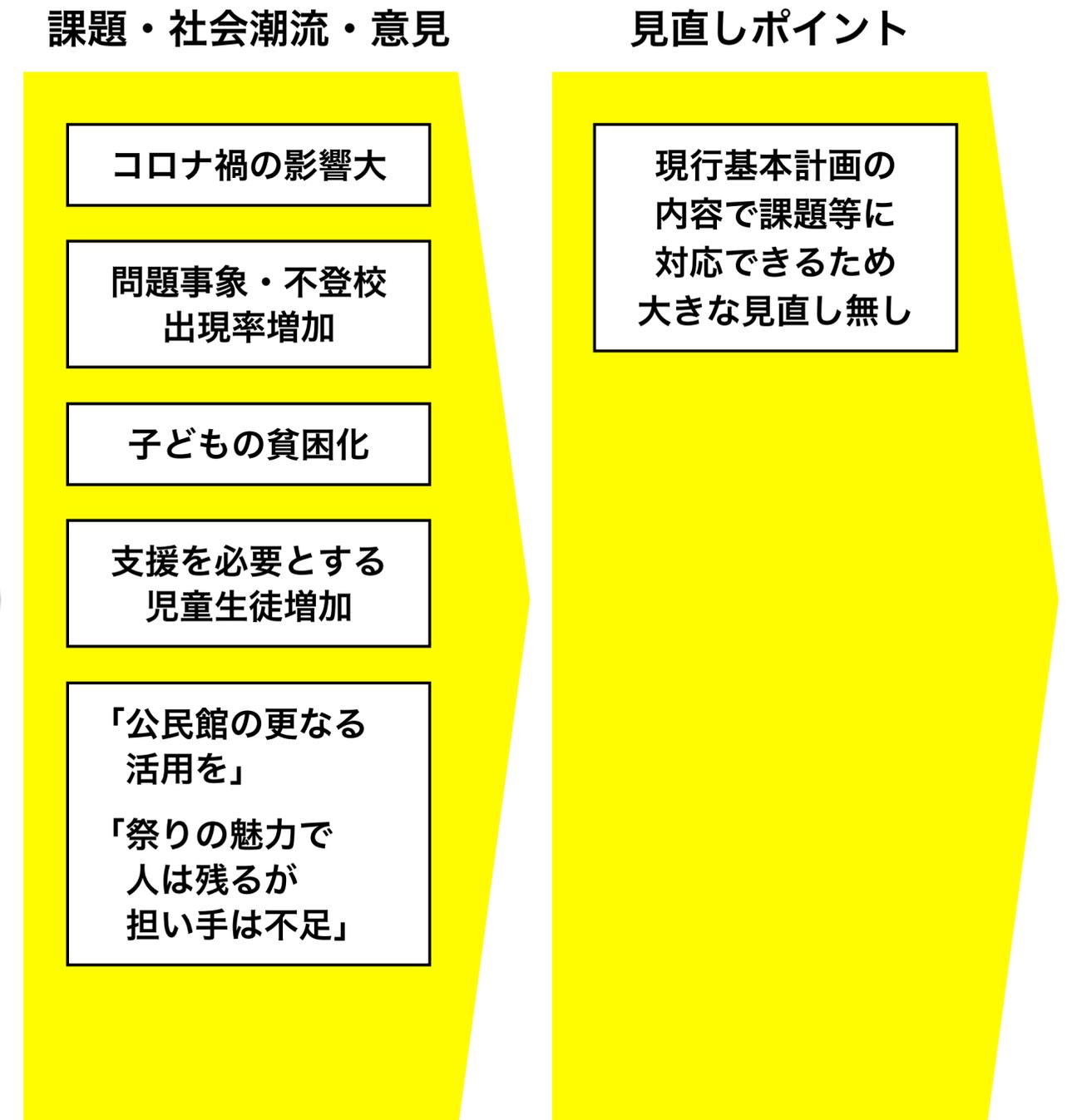
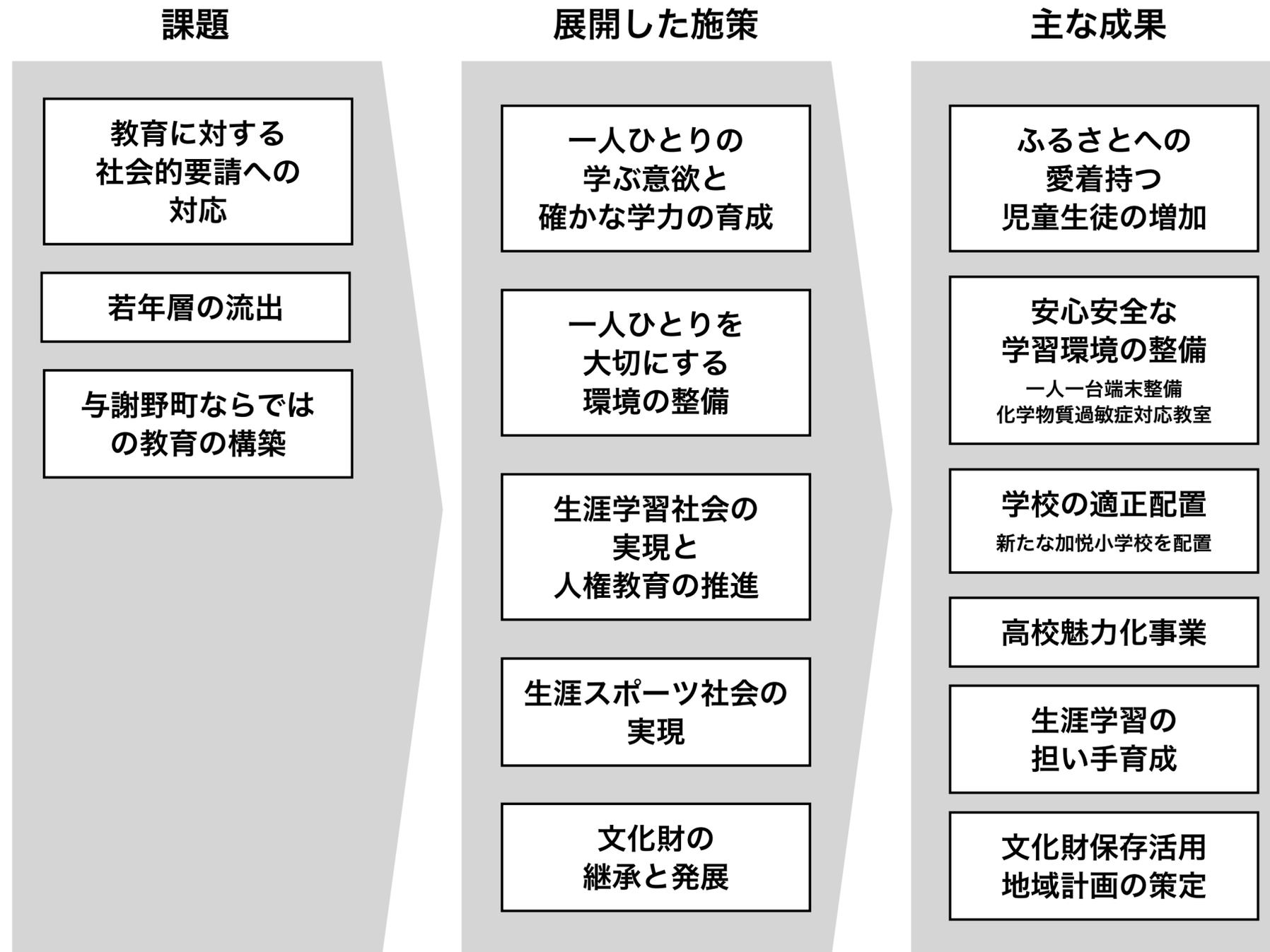
③ 子育て世代の交流の促進

① 交流の場づくりの推進

② 子育て支援の輪づくりの推進

前期基本計画期間【2018(H30)～2021(R4)年度】の取り組み

後期基本計画策定に向けた検討経過



方針 (目指すまちの姿)

魅力ある教育が活力ある人や地域を創るまち

基本施策

1. 一人ひとりの学ぶ意欲と確かな学力の育成

基本施策の目的

- 主体的に学び、考え、時代に必要とされる学力を身に付けた児童生徒を育成すること

進捗状況を見る指標

- 標準学力検査(CRT)の数値

2. 一人ひとりを大切にする環境づくり

基本施策の目的

- 町内すべての小中学校で人権と多様な個性を尊重した学校教育を実施すること

進捗状況を見る指標

- 学校生活に満足している、学校生活に意欲のある児童生徒の割合

施策

① 与謝野町に誇りを持てる子どもたちの育成

② 質の高い教育による学力の充実・向上

③ ICT教育・グローバル教育の推進

④ 地域と学校による連携・協働組織の構築

① 心身ともに健やかな子どもの育成

② 学校の適正配置の推進

③ 安心安全な学習環境の整備・充実

④ 適切な就学指導と教育支援の推進

方針 (目指すまちの姿)

魅力ある教育が活力ある人や地域を創るまち

基本施策

3. 生涯学習社会の実現と人権教育の推進

基本施策の目的	進捗状況を見る指標
<ul style="list-style-type: none"> 生涯学習活動に参加する人を増やすこと 	<ul style="list-style-type: none"> 公民館講座等への参加者数 公民館の利用者数

4. 生涯スポーツ社会の実現

基本施策の目的	進捗状況を見る指標
<ul style="list-style-type: none"> 生涯スポーツ活動に参加する人を増やすこと 	<ul style="list-style-type: none"> スポーツ事業への参加者数 社会体育施設の利用者数

5. 文化財の継承と活用

基本施策の目的	進捗状況を見る指標
<ul style="list-style-type: none"> 文化財を次世代へ継承する意識を醸成すること 文化財を活用した地域づくりを増やすこと 	<ul style="list-style-type: none"> 地域文化財に関する講座等の実施回数

施策

- ① 様々な要請に応じた社会教育の推進
- ② 生涯学習・公民館活動・文化活動等の推進
- ③ 人権教育の推進

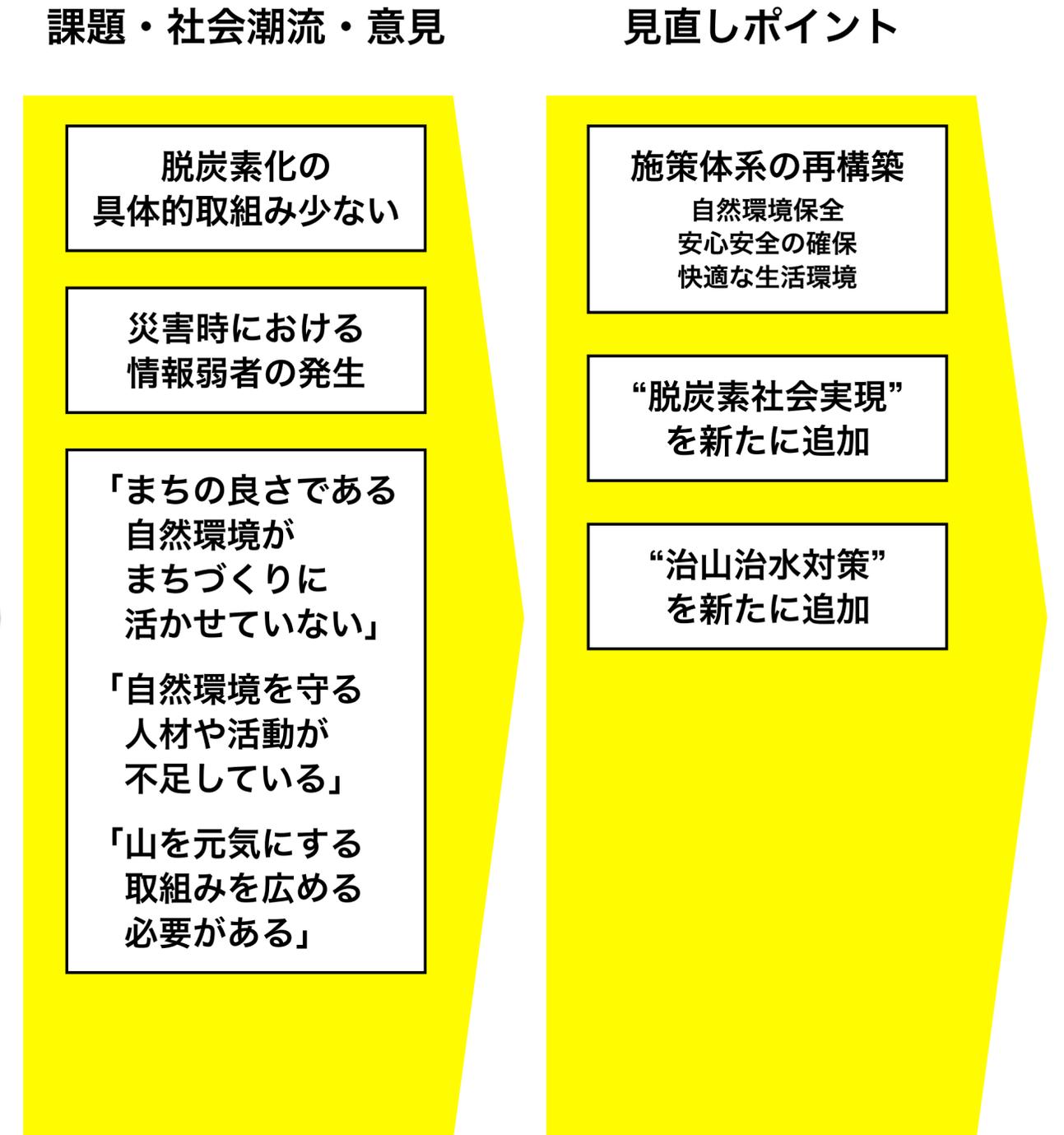
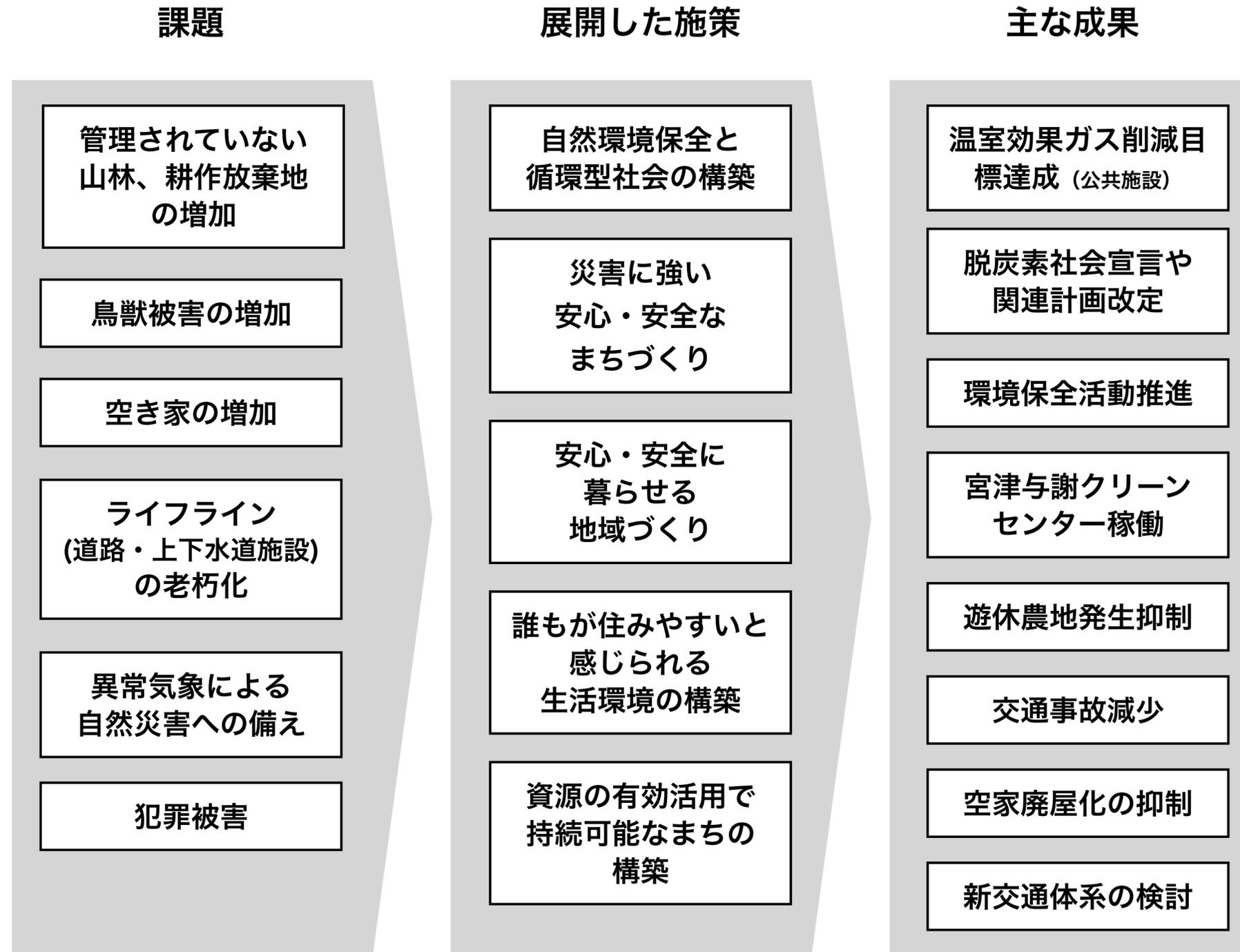
- ④ 地域ぐるみで子どもや家庭を支える連携・協働体制の構築
- ⑤ 青少年育成活動の推進
- ⑤ 図書館の充実

- ① 多彩な生涯スポーツ活動の推進
- ② 特色あるスポーツイベント等の推進

- ① 文化財の保存・活用の推進

前期基本計画期間【2018(H30)～2021(R4)年度】の取り組み

後期基本計画策定に向けた検討経過



方針 (目指すまちの姿)

美しくて住みやすい安心安全なまち

基本施策

1. 地域からはじめる地球にやさしい環境づくり

基本施策の目的	進捗状況を見る指標
<ul style="list-style-type: none"> 脱炭素社会実現・自然環境保全・再資源化につながる取り組みを増やすこと 	<ul style="list-style-type: none"> 温室効果ガス削減量(2013年度比)

2. 安心・安全に暮らせる地域づくり

基本施策の目的	進捗状況を見る指標
<ul style="list-style-type: none"> 暮らしの安心・安全につながる取り組みを増やすこと 	<ul style="list-style-type: none"> 安心・安全に暮らせると感じる住民の割合

3. 快適で暮らしやすい生活環境づくり

基本施策の目的	進捗状況を見る指標
<ul style="list-style-type: none"> 住みやすい生活環境があると感じる人を増やすこと 	<ul style="list-style-type: none"> 生活環境に満足している住民の割合

施策

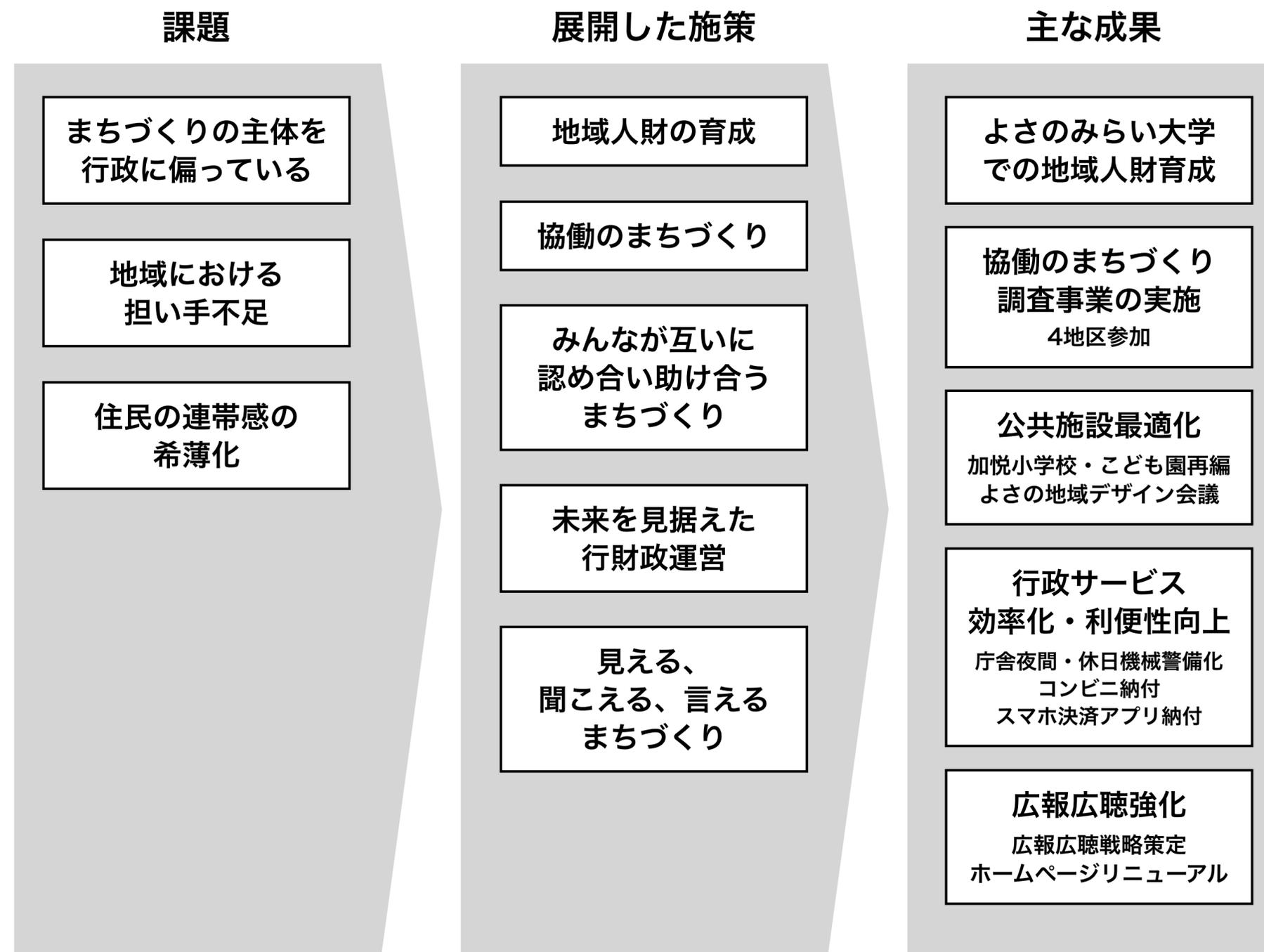
- ① 脱炭素社会の実現
- ② 自然保護活動の推進
- ② 廃棄物の抑制・再資源化の推進

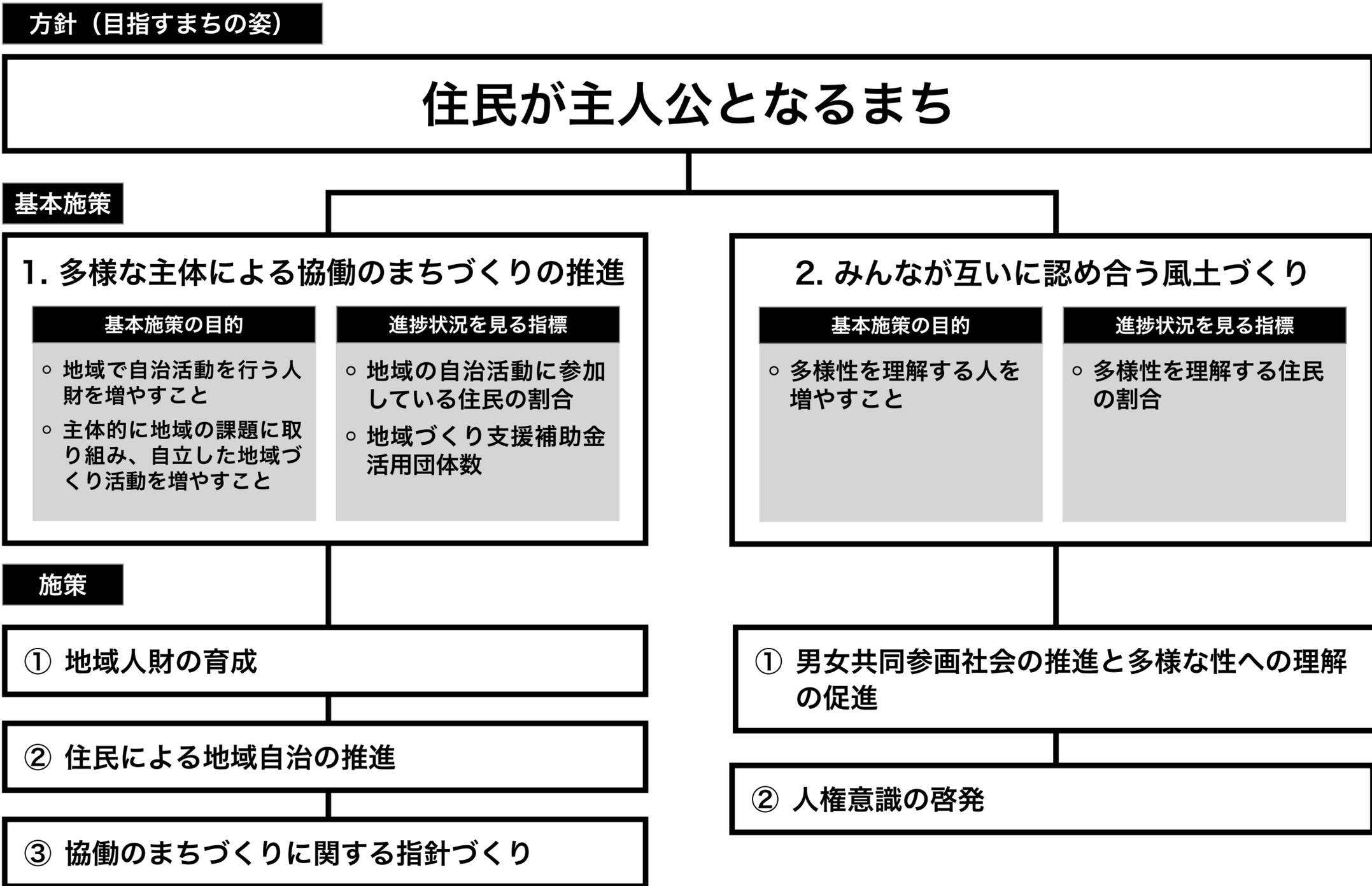
- ① 災害に強い体制づくりの推進
- ② 治山治水対策の推進
- ③ ライフライン・建物耐震化の推進
- ④ 交通安全・防犯活動の推進
- ⑤ 消費者保護対策の推進
- ⑥ 有害鳥獣対策の推進

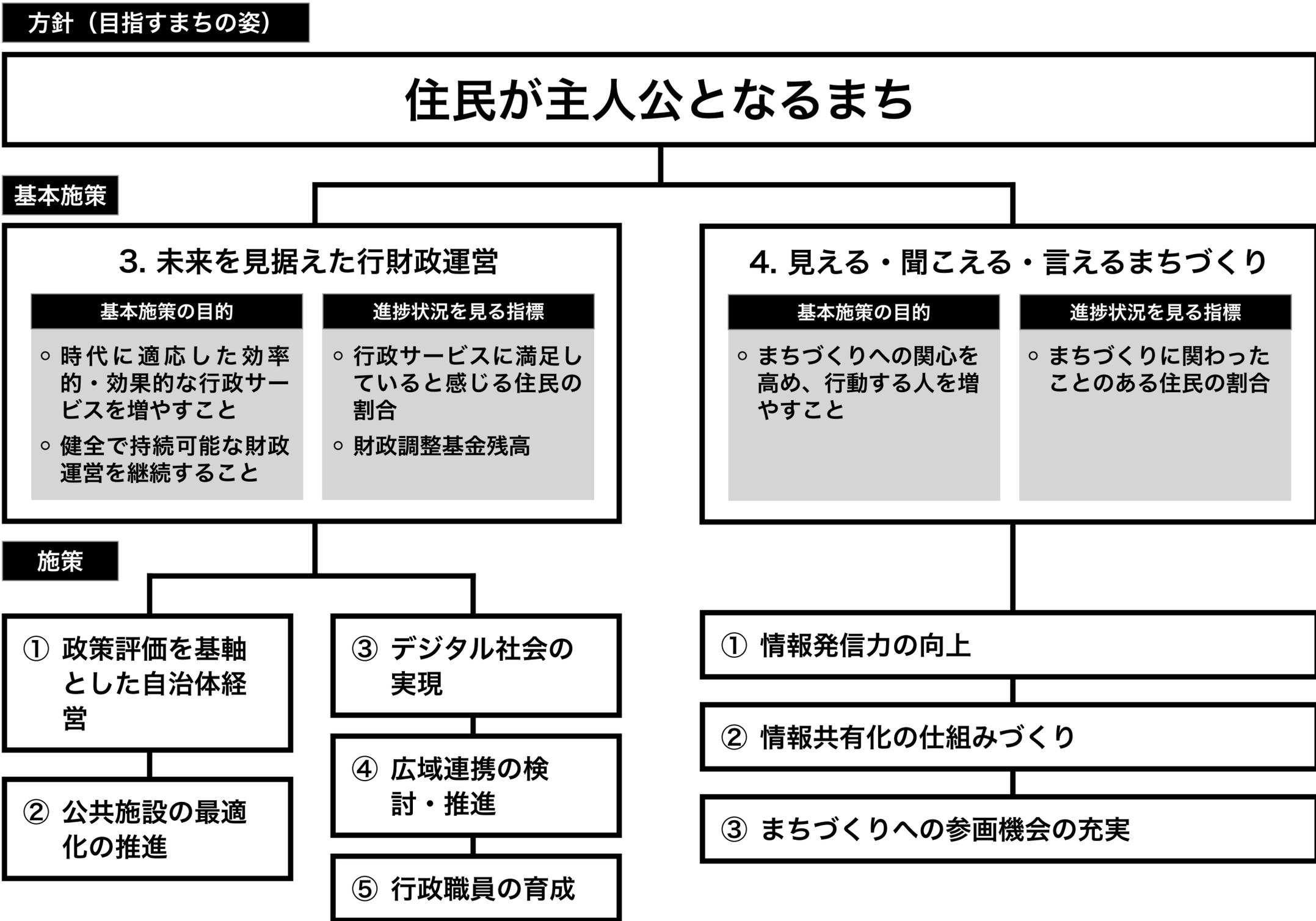
- ① 快適な住まい環境の充実
- ② 利用しやすい公共交通の確保
- ③ 適正で合理的な土地利用の推進
- ④ 美しい景観の保全・活用
- ⑤ 道路・橋梁・公園・上下水道施設等の整備・維持管理
- ⑥ 上下水道事業の持続可能な経営基盤づくり

前期基本計画期間【2018(H30)～2021(R4)年度】の取り組み

後期基本計画策定に向けた検討経過







後期基本計画 素案

重点プロジェクト

総合計画審議会からの提案プロジェクトを後期基本計画に盛り込みます

総合計画審議会において、タウンミーティング「よさのみらい会議」「まちづくりアンケート」等で延べ1,000人以上の住民参画による計画づくりが進められる中で、分野を横断する共通課題・住民ニーズが抽出されました。それらに応える取り組みとして提案されたのが「重点プロジェクト」です。実施にあたっては、総合計画審議会において、住民の共感と参画を得て実施するための仕組みを検討いただく予定です。

後期基本計画に、地方創生の計画「総合戦略」を引き継ぎます

与謝野町では、人口減少社会における持続可能なまちづくりを実現するため、「まち・ひと・しごと創生」（地方創生）に向けての具体的な目標とそれを達成するための施策をまとめた「第2期与謝野町ひと・しごと・まち創生総合戦略」を令和2年3月に策定しました。本戦略に掲げた4つの基本目標（次頁参照）は後期基本計画の各施策に引き継ぎ、総合計画に一本化することで地方創生の着実な推進を図ります。

分野別計画

重点プロジェクト

住民主体で進めるプロジェクト

行政が取り組むプロジェクト

分野1 一人ひとりが個性を活かして安心して働けるまち	分野2 地元を誇りに想い人の流れを生むまち	分野3 みんなが自分らしく幸せに生きるまち	分野4 つながりで笑顔を未来につむぐまち	分野5 魅力ある教育が活力ある人や地域を創るまち	分野6 美しく住みやすい安心安全なまち	分野7 住民が主人公となるまち
-------------------------------	--------------------------	--------------------------	-------------------------	-----------------------------	------------------------	--------------------

<p>つながる みらい会議プロジェクト</p>	<p>“多様な人たち（町民、多世代、出身者、大学生、地元企業等）がつながる場が必要”</p>
<p>応援する いいね！プロジェクト</p>	<p>“町民の応援マインドをアップさせる（挑戦を応援する風土づくり）ことが重要”</p>
<p>×</p>	
<p>伝える 広報強化プロジェクト</p>	<p>“人を寄せる、まちに戻ってきてもらう、関わり続けてもらうには、情報発信が重要”</p>
<p>人口減少抑制 地方創生プロジェクト</p>	<p>基本目標1 与謝野を愛し多様性を認め合いながら新しいモノやコトを創出する地域人財をつくる 基本目標2 たすけあう地域ぐるみの出産・子育てを実現 基本目標3 持続可能な与謝野の産業をつくる 基本目標4 まちへの人の流れをつくる 基本目標5 地域と地域が連携し持続可能なまちをつくる</p>

＼ 町民の声 /

町民、多世代、出身者、大学生、地元企業等、多様な人たちをつなげる、多様な人たちがつながる場が必要。役場にもこの役割を求め

子育て世代の人たちが意見が言える場や対話できる場が必要

妄想を構想にすることのできる場づくりができないか

まちに住む人が、まちの中に居場所をつくって、まちの人が集う。こういった「地産地消」を広げていければ

地域の未来のための対話の場、様々な分野で活躍している地域人材による学びの場が創出できないか

よさの未来会議ではたくさんの刺激をもらった



つながる

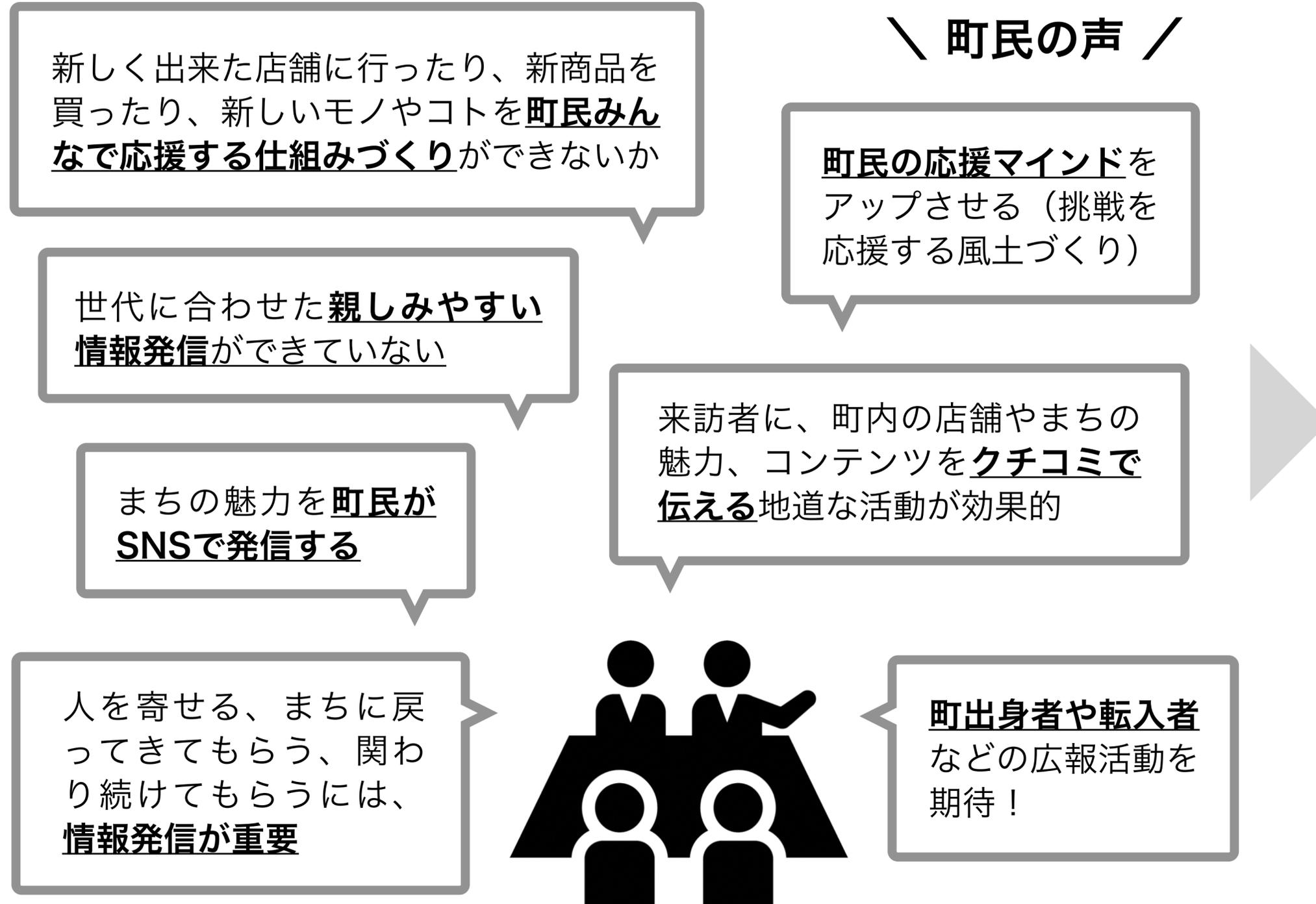
(仮称) 未来会議プロジェクト

目的 | 総合計画で描いたまちの将来像を実現する、まちづくりの実践者を生み出す・育む・つなげる・増やす

事業展開例

まちづくり実践塾 (人材育成)

まちづくりプランコンテスト



応援する×伝える

(仮称) いいね！プロジェクト

目的 | 地域資源の魅力発見と情報発信を行い、町内外の与謝野ファンを増やす

事業展開例

住民参加型シティプロモーション

ふるさと納税強化

広報広聴戦略の推進